

伊勢市地域審議会会議議事録  
(平成19年度第1回二見地区地域審議会)

1. 日 時 平成19年5月22日(火)  
19時～21時
2. 場 所 二見総合支所3階第1会議室
3. 議事内容 総合計画基本構想に関する諮問について  
その他
4. 出席委員 松本 徳男委員、濱千代 利弘委員、松本 誠委員、  
中村 恒委員、橋本 清美委員、北井 伸治委員、北  
村 峯記委員、酒徳 孝委員、宮後 朝訓委員、柏端  
長一委員、須崎 京子委員、八木 直己委員、濱條 幸  
久委員
5. 欠席委員 奥野 雅則委員、北岡 孝敏委員
6. 出席職員 行政経営課長  
二見総合支所長、二見地域振興課長、係
7. 傍 聴 人 なし
8. 内 容 (概要)

あいさつ

- ・副会長：本日は、会長が欠席のため代わって進行。
- 二見総合支所長が山本総合支所長から坂谷総合支所長へ交代の報告。
- ・総合支所長：4月から山本総合支所長の後任の坂谷です。昨年6月  
から産業建設課長として10ヶ月になります。本日のご審議よろし  
くお願いします。
- ・副会長：それでは審議事項 総合計画基本構想に関する諮問につい  
て事務局説明を。
- ・地域振興課長：前回の会議で配布した合併後に調整するとした合併  
協議項目で、福祉健康課より4項目を追加。食育推進事業につい  
ては、合併後速やかに調整する。事務局を福祉健康課から教育委  
員会へ移して協議していく。ブックスタート事業は、本に慣れ親  
しむ目的で保健師が1歳半までに訪問時に手渡す事業で、現状で  
実施。緊急通報装置貸与事業は、現貸与者1名は継続し、廃止を  
含めて見直し、新規は受け付けない。主食費(保育園)は、当分の  
間現行どおりとし、合併時から米飯給食を実施している。
- ・副会長：説明のありました調整項目について、質問等有りましたら  
お願いしたい。

- ・地域振興課長：総合支所は、4月の機構改革により、生活環境課、福祉健康課、産業建設課、地域振興課の4課24名の配置になりました。旧二見町職員は、18名です。
- ・委員：以前の二見町より、寂しくなった様に思う。対応が簡素化されて水くさく事務的になった。以前は、もっと親切に感じた。
- ・委員：4課24名になったことにより、迅速に対応をするようになった。たて割りの弊害より、横のつながりが良くなった。
- ・副会長：合併により良くなったところも、この際に意見をお願いしたい。
- ・委員：窓口業務について4月から簡易なものしかとれず、分かりづらく不便になった。その理由を知りたい。
- ・地域振興課長：証明をとるためのデータ管理は、本庁で対応せざるを得ない。一般的には、最小限のサービスの低下として理解を得たい。
- ・委員：余りにも急な変化せざるを得なかったのか。
- ・地域振興課長：団塊の世代等の退職に伴い、やむを得ないのでは。
- ・委員：市民1人当たりの行政コストを比較すると、最高は、兵庫県で692,000円、最低千葉県194,000円の格差があるのです。三重県は、どのくらいか。市民としてもそういうことを頭において考えることが大事である。皆の協力が必要であり自分の事だけでなくグローバルな考え方、大きな視野で見る必要がある。
- ・地域振興課長：伊勢市は、類似団体と比較して人口割には、職員が多い。退職者の職員減を総合支所でも同様である。合併時全職員107人、庁舎内で約70人。
- ・委員：私はボランティア活動をしているが、旧二見町の時に比べて物を借用する時など総合支所長の判断で許可できないものか。体育指導員についても小俣の教委へ手続きするより、二見町の部署で対応できないか。たとえば、食生活改善活動での備品借用申請である。
- ・地域振興課長：体育協会、子ども会については、地域振興課で4月から担当している。
- ・委員：二見で活動することについては、すべて二見で対応してほしい。
- ・地域振興課長：体育指導員の活動等、新市の一体の中で活動していただく認識をしてほしいので事務局は、本庁一本でご理解いただきたい。

- ・委員：総合支所となっているが、実際支所になってきている。住民サービスからも、各担当を一人でも残してほしい。
- ・副会長：住民サービスの低下にならないように配慮願いたい。  
次に総合計画基本構想に関する諮問について入ります。  
作成されてから2年程経過してますが、何か感じたこと、意見があればお願いしたい。
- ・委員：各行政の均一化をしてほしいが、現在違和感は、そんなに感じないが、市民の皆さんの努力も必要ですね。
- ・委員：都市計画税は、5年後に二見町にも課税される。目的税ですが旧伊勢市民の方は、使い途を知らされているのか。納得して納税しているのか。
- ・地域振興課長：5年以内に課税するかを含めて検討し決定することです。旧伊勢市は、10億円の収入が見込まれている。
- ・委員：是非、使い途も含めて検討してほしい。
- ・委員：旧町村においては、新税ですので説明はきちんと果たしてほしい。
- ・委員：合併調整項目の申告受付業務の説明をしてほしい。
- ・地域振興課長：確定申告の受付です。
- ・委員：それなら分かりました。
- ・副会長：総合計画基本構想に関する諮問については、伊勢地区は適当であるので認める。御園地区は、おおむね適当で別に意見を述べている。
- ・委員：基本構想は、基本になることですので、私は賛成します。
- ・委員：三身一体改革では、国と夕張市の財政は同じ様なものである。  
二見町も合併して茨の道だが、しなければもっと悪かったであろう。
- ・地域振興課長：二見の水道料金は、下がった。今度は、小俣町の値上げが言われている。
- ・行政経営課長：新市の総合計画を作るのは、役所ではなく皆さんでつくる。現在、まちづくり市民会議を結成し各項目を検討している。新市建設計画を基に総合計画を作っていく。基本構想については、大きな考え方であるので主旨はそのままいきたい。ただ、地域審議会の意見を伺うことになっているので、皆さんのご意見をいただきたい。
- ・委員：基本構想は、そのままをお願いしたいということですね。個別に何かないかということですね。

- ・行政経営課長：伊勢、小俣、御園地区は、特に無いということです。
- ・委員：基本構想は、そのままです。小さいことについては、市民会議で検討してくださいということですが、地域審議会と市民会議は、市民の一体感を醸成する目的でそれぞれで意見を述べるわけですね。
- ・行政経営課長：今度、市の機構改革により地域内分権推進課ができ、市全体を考えたことを地域としての役割と一緒に考えていきたい。地域が、それぞれの特色を生かし行政だけでなく、各自治会等と作っていくものです。
- ・委員：合併によって新しいまちづくりで生じた不均衡について、地域審議会で意見を出すということは不合理が生じるのでは。
- ・行政経営課長：地域としての意見をいただきたい。
- ・委員：地域審議会の方向性は、実際とは違った方向になっている。地域格差があるから統一は無理。市全体的なことを出すのは、無駄ではないか。行政が、取りまとめすれば良いのでは。
- ・行政経営課長：地域の特性を生かした地域としての意見があれば、地域審議会としての意見をいただきたい。地域振興のセーフティネットだと思っている。市民と一緒に計画を作成していきたい。地域審議会と市民会議が目的を同じにして意見を作っていただきたい。
- ・委員：この諮問については意見はない。今後の諮問について、二見としてどんどん意見を述べれば良いのですね。
- ・副会長：茶屋区の下水道の悪臭についてですが、観光地として、マイナス要因であるので何か原因があるのか。
- ・地域振興課長：下水道の未引込世帯が2割あるので要因として考えられます。また、今までの積み重ねもあると思われるのでしゅんせつ等が必要では。市を挙げての抜本的な対策が必要である。
- ・委員：特に干潮時には、その場に居られない状況である。ひ門の構造欠陥では。砂の堆積しない対策が必要である。
- ・委員：下水道加入率の改善はなされているのか。
- ・地域振興課長：改善されているようです。
- ・副会長：強い行政指導をお願いしたい。
- ・地域振興課長：今年度の地域審議会は、あと2回開催。昨年10月12日開催時に配布された新市の一体感の醸成についての答申ですが、二見は、「観光について」という意見をいただきました。今後、街なみ環境整備事業で、二見浦公園整備を19年度実施。生涯学習

センターの花壇の辺りまで道路美装化を行う。消防署を19年度に移転予定。20年度以降に総合駐車場の整備は、事業を替えて実施予定。総合駐車場への国道からの導入路の整備。駐車料は、有料も含めて検討するが、観光客のすべてが有料という考えではない。

- ・ 委員：旧二見町の時から、観光が潤えば町全体が潤う考えでした。「そぞろ歩きの出来る街並み」という売りだが、当地の茶屋区の悪臭は恥ずかしいことである。
- ・ 行政経営課長：市長は、人をお出迎えするための交通整備が必要とする。交通量調査をした上で、25年度ご遷宮に向けてパークアンドライド交通システムを完成させたい。
- ・ 副会長：次回までに二見は、観光について意見を考えていただく。
- ・ 地域振興課長：今回は、秋頃開催予定ですので、その前に勉強会を開く。また、資料の請求を地域振興課まで申し出てください。

閉会